

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 8 月 30 日(2023.8.30)

【公開番号】特開 2022-37824(P2022-37824A)

【公開日】令和 4 年 3 月 9 日(2022.3.9)

【年通号数】公開公報(特許)2022-042

【出願番号】特願 2020-142166(P2020-142166)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 6 1

A 6 3 F 5/04 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 22 日(2023.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のリールと、

前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、

役の内部抽選を行う内部抽選手段と、

前記リールの回転態様及び停止態様を制御するリール制御手段と、

複数の遊技状態の間で遊技状態を移行させる制御を行う遊技状態移行制御手段と、を備え、

前記複数のリールは、特定リールを含み、

30

前記複数のストップボタンは、前記特定リールに対応する特定ストップボタンを含み、

前記複数の遊技状態は、第 1 遊技状態と、第 2 遊技状態と、を含み、

前記第 1 遊技状態は、ボーナスが作動しておらず、

前記第 2 遊技状態は、前記ボーナスが作動しており、

前記第 1 遊技状態における前記内部抽選には、特定当選態様が抽選の対象に含まれ、

前記特定当選態様は、第 1 小役と、第 2 小役と、第 3 小役と、が重複当選する当選態様であり、

前記第 1 小役の配当は、前記第 2 小役の配当よりも高い配当で、かつ前記第 3 小役の配当よりも高い配当であり、

前記特定当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンのうち前記特定ストップボタンが操作される場合において、第 1 タイミングで操作された場合には、前記リール制御手段によって枚数優先制御が実行されることで前記第 1 小役が入賞可能であり、前記第 1 タイミングとは異なる第 2 タイミングで操作された場合には、前記リール制御手段によって個数優先制御が実行されることで前記第 1 小役が入賞せず、

40

前記第 2 遊技状態は、遊技価値の獲得率の期待値が 100%未満となっている、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
役の内部抽選を行う内部抽選手段と、
前記リールの回転態様及び停止態様を制御するリール制御手段と、
複数の遊技状態の間で遊技状態を移行させる制御を行う遊技状態移行制御手段と、を備え、
前記複数のリールは、特定リールを含み、
前記複数のストップボタンは、前記特定リールに対応する特定ストップボタンを含み、
前記複数の遊技状態は、第1遊技状態と、第2遊技状態と、を含み、
前記第1遊技状態は、ボーナスが作動しておらず、
前記第2遊技状態は、前記ボーナスが作動しており、
前記第1遊技状態における前記内部抽選には、特定当選態様が抽選の対象に含まれ、
前記特定当選態様は、第1小役と、第2小役と、第3小役と、が重複当選する当選態様であり、
前記第1小役の配当は、前記第2小役の配当よりも高い配当で、かつ前記第3小役の配当よりも高い配当であり、
前記特定当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンのうち前記特定ストップボタンが操作される場合において、第1タイミングで操作された場合には、前記リール制御手段によって枚数優先制御が実行されることで前記第1小役が入賞可能であり、前記第1タイミングとは異なる第2タイミングで操作された場合には、前記リール制御手段によって個数優先制御が実行されることで前記第1小役が入賞せず、
前記第2遊技状態は、遊技価値の獲得率の期待値が100%未満となっている、ことを特徴とする。

10

20

30

40

50